



一般社団法人日本遠隔医療学会

平成 27 年度（第 5 期）定時社員総会 議案書

- | | |
|---------|----------------------|
| 第 1 号議案 | 平成 26 年度(第 4 期) 事業報告 |
| 第 2 号議案 | 平成 26 年度(第 4 期) 決算報告 |
| 第 3 号議案 | 平成 27 年度(第 5 期) 事業計画 |
| 第 4 号議案 | 平成 27 年度(第 5 期) 予算 |
| 第 5 号議案 | 定款の変更 |
| 第 6 号議案 | 役員を選任 |

日時 平成 27 年 6 月 27 日（土）13：00～14：10
場所 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-9
御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
電話：03-3251-7222 FAX：03-3251-7447

*** 6 月 27 日時間割 ***	
09：30～15：30	受付
10：00～11：45	定時理事会
13：00～14：10	定時総会
14：15～15：00	臨時理事会
15：15～15：45	幹部研修会（講演）
15：45～17：15	運営委員会
17：30～19：30	懇親会（会費 2,000 円）

第1号議案 平成26年度(第4期)事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌の発行

以下のごとく、平成26年度は2冊の日本遠隔医療学会雑誌第9巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第10巻1号 平成26年5月 500部

日本遠隔医療学会雑誌 第10巻2号 平成26年9月 450部(大会使用分除く)

なお、編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長	石塚 達夫	岐阜市立病院
委員	新井 桃子	NPO法人 medical-e.net
	酒巻 哲夫	高崎市医師会看護専門学校
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学
	長谷川 高志	群馬大学
	森田 浩之	岐阜大学

2. 平成26年度日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2014 の開催

以下のごとく、平成26年度日本遠隔医療学会学術大会を開催した。

1) 会期 平成26年(2014年)10月25日(土)～10月26日(日)

2) 会場 長崎大学医学部(良順会館・ポンペ会館他)

長崎市坂本1-71-

3) 開催の体制

大会長 本多 正幸 (日本遠隔医療学理事、長崎大学大学院医歯薬総合研究科教授)

プログラム委員長 近藤 博史(鳥取大学)

総務委員長 八幡 勝也(住田病院)

実行委員長 松本 武浩(長崎大学大学院医歯薬総合研究科)

幹事長 中島 直樹(九州大学)

4) プログラム概要

(1) テーマ ー地域医療と在宅医療の融合を支援するー

(2) 企画セッション等

大会企画I シンポジウム

「遠隔医療を用いた海外在留邦人支援～メンタルヘルス、睡眠時無呼吸症候群～」

大会企画II シンポジウム 「地域医療連携の展開」

大会企画III パネルディスカッション 「福祉分野への展開と課題」

(3) 一般演題・分科会(登録数38題)

・在宅医療支援(1)	4題	・遠隔医療システム評価	4題
・在宅医療支援(2)	4題	・遠隔診断	4題
・地域医療連携・病理画像	5題	・在宅医療支援(3)	5題
・周産期分科会	2題	・遠隔医療技術	4題
・e-health分科会(厚生労働科学研究報告)	2題		
・システム、技術開発	4題		

5) 参加者数

学会員	120名
非会員	86名
学生	8名
招待者	26名
(合計)	240名 (運営スタッフ及び展示企業スタッフを除く)

6) 企業展示

展示会場 長崎大学医学部 (良順会館、ポンペ会館)
 展示会社及びコマ数 20社 (22コマ)、IHE (1コマ)

7) ランチョンセミナー

ランチョンセミナー①	会場	ポンペ会館	企業	インターシステムズジャパン
ランチョンセミナー②	会場	医学部第一講義室	企業	富士フイルムメディカル

8) 優秀論文表彰

以下の2論文を優秀論文として表彰した。

(1) 郡 隆之 (利根中央病院)

「訪問診療における遠隔診療の事象発生、移動時間、QOLに関する症例比較多施設前向き研究」

(2) 小笠原 敏浩 (岩手県立大船渡病院)

「周産期部門電子カルテと岩手県周産期医療情報システム
 ”いーはとーぶ”連携の実現に向けての取り組み」

9) 決算概要

(1) 収入の部

会費および懇親会収入	3,304千円
協賛企業出展等収入	7,023千円
寄付金及び助成金	500千円
学術大会準備金 (本部会計より)	300千円
その他	84千円
合計	11,211千円

(2) 支出の部

会場借り上げおよび設営費	4,580千円
会議費 (懇親会を含む)	2,303千円
印刷費	724千円
大会事務局運営経費	2,305千円
大学寄付金	900千円
本部会計への戻し入れ	400千円
合計	11,211千円

3. 平成26年度 Spring Conference 2015 の開催

以下のごとく、平成26年度日本遠隔医療学会 Spring Conference 2015 を開催した。

1) 会場 東京都文京区 全国家電会館

2) 会期 平成27年2月20日(金)、21日(土)

3) プログラム概要

第1日 会長講演「日本遠隔医療学会の国際交流活動」 原 量宏

特別企画 遠隔医療の国際展開

基調講演 スマートプラチナ社会構築事業の海外展開 総務省 田邊 光男
 ASEAN 諸国の遠隔医療調査 海外通信・放送コンサルティング協力 布施 誠
 医療 ICT のアジアへの展開 株式会社NTT データ経営研究所 本多 周一
 ラオス保健医療分野における ICT 利活用 富士通株式会社 小林 真弓
 ランチョンセミナー Sponsored by 在日米国商工会議所
 シンポジウム 遠隔医療を市民の手に
 セッション1 市民から見る遠隔医療
 セッション2 遠隔医療通訳、医療へのアクセスに困る人々を支援する
 セッション3 厚生労働科学研究 遠隔医療研究班報告

第2日 厚労科研報告 (2)

見守り分科会・JST 事業報告

一般演題 (1) 5 演題

一般演題 (2) 6 演題

4) 来場者数 85 名

5) 発表演題数 企画演題 8 題、一般演題 11 題

6) 収支概要

(1) 収入の部

参加費	773 千円
ランチョンセミナー協賛金	150 千円
<u>展示・広告参加費</u>	<u>50 千円</u>
合計	973 千円

(2) 支出の部

会場費	186 千円
弁当・ドリンクサービス費	202 千円
抄録作成費	189 千円
<u>講師交通費</u>	<u>10 千円</u>
合計	586 千円

4. 第34回医療情報学連合大会における共同企画

以下のごとく、第34回医療情報学連合大会における共同企画を開催した。

共同企画 10

日時 平成 26 年 11 月 7 日 09:00-10:30

場所 千葉市幕張メッセ

タイトル 「日本の遠隔医療の国際展望」

座長 本多正幸 (長崎大学)、原量宏 (香川大学)

講演 1 「スマートプラチナ社会構築事業の海外展開」 総務省 田邊 光男

講演 2 「NTT グループの海外事業展開」 NTT 是川

講演 3 「九州大学アジア遠隔医療開発センターの活動」 九州大学 中島 直樹

- 講演 4 「BHN テレコム協議会の国際支援」 BHN テレコム協議会 樽松 八平
 講演 5 「インド農村部の遠隔医療支援」 インド福祉村協会 三瓶 宏一
 講演 6 「ASEAN 諸国の遠隔医療調査報告」 e-HCIK 山肩 大祐

II 学会組織の運営

1. 総会の開催

平成 26 年度、総会は以下のとおり開催した。

平成 26 年度定時総会

- 日時：平成 26 年 6 月 28 日（土） 東京都
 場所：東京都千代田区神田淡路町 2-9 お茶の水・ホテルジュラク 白鳥の間
 出席状況：幹事会員 20 人中、出席 11 人、委任状 7 人、欠席 2 名
 議題：第 1 号議案 平成 25 年度（第 3 期）事業報告
 第 2 号議案 平成 25 年度（第 3 期）決算報告・監査報告
 第 3 号議案 平成 26 年度（第 4 期）事業計画
 第 4 号議案 平成 26 年度（第 4 期）予算

2. 理事会の開催

理事会は以下のとおり開催した。

- 第 1 回理事会 期間：平成 26 年 6 月 10 日～20 日
 方法：電子メールによる審議、FAX による回答。
 注：本来は、6 月 28 日の総会に先立ち開催の予定であったが、
 出席理事が定足数を満たさなかったため、通信による審議に変更。
 議題：第 1 号議案 平成 25 年度（第 3 期）事業報告
 第 2 号議案 平成 25 年度（第 3 期）決算報告・監査報告
 第 3 号議案 平成 26 年度（第 4 期）事業計画
 第 4 号議案 平成 26 年度（第 4 期）予算
 第 5 号議案 運営委員会規則の改定
 第 6 号議案 入会の承認
- 第 2 回理事会 期間：平成 26 年 12 月 24 日～26 日
 方法：電子メールによる審議、FAX による回答。
 議題：JTTA2015 投稿論文の査読支援業務委託契約締結について。
- 第 3 回理事会 期間：平成 27 年 1 月 8 日～15 日
 方法：電子メールによる討議
 議題 次期幹事会員の理事会推薦者の選出手続きについて
- 第 4 回理事会 日時：平成 27 年 2 月 20 日 12：00～13：00
 場所：東京都文京区湯島 全国家電会館 4F 会議室
 出席状況：理事 10 人中、出席 7 人、欠席 3 人
 議題：第 1 号議案 幹事会員 3 名の指名について
 第 2 号議案 定款の改定（購読会員の創設）について

第3号議案 委員会規則の改定について

3. 運営委員会の開催

運営委員会は以下のとおり開催した。

- 第1回運営委員会 日時：平成26年6月28日(土) 15:00～17:00日
場所：東京都千代田区 お茶の水・ホテルジュラク
出席状況：運営委員36人中、出席17人、委任状13人、欠席6人
議題：1. 総会報告
2. 運営委員会規則の改定について
3. 学術大会準備状況について
4. 平成28年度以降の学術大会大会長、開催地について
 H28 大会長 近藤博史、開催地 米子市
 H29 大会長 坂田信裕、開催地 宇都宮市
5. 学会雑誌発行について
6. 国際交流委員会の発足と活動について
 委員長 三瓶宏一
7. ASEAN 諸国の遠隔医療事情調査受託について
8. 分科会の活動について
9. 日本遠隔医療協会の活動について
10. Spring Conference 2105 開催について
 2015年2月20, 21日 全国家電会館
- 第2回運営委員会 日時：平成26年10月26日(日) 12:00～13:00
場所：長崎大学医学部 第一講義室
出席状況：運営委員35人中、出席20人、欠席15人
議題：1. JTTA2014・第18回学術大会開催の状況報告
2. JTTA2015・第19回学術大会準備状況報告
3. 平成28年度以降の学術大会大会長、開催地の確定
4. 学会雑誌発行(10巻2号)発行についての報告
5. JTTA2014 優秀論文表彰について
 (1) 弘岡 泰正 (医療法人順正会)
 (2) 岡田宏基 (香川大学)
 (3) 亀田多江 (創価女子短期大学)
6. 第19回国際遠隔医療学会 (Paris) 参加報告
7. 日本遠隔医療協会の役員交代について
8. 厚生労働省委託事業 遠隔医療従事者研修会について
9. 政府・中央官庁の政策動向・予算動向報告
10. Spring Conference 2015 開催について
11. 平成26年度上半期の活動・収支状況報告

- 1 2. 来年度の幹事会員選挙の実施について
- 1 3. ルーラルナーシング学会の活動について

第3回運営委員会 日時：平成26年12月6日(土) 13:00～16:40

場所：全国家電会館・1F会議室

出席状況：運営委員35人中、出席20人、欠席15人

議題：1. JTTA2014・第18回学術大会開催の報告

2. 平成27年度学会雑誌発行計画について

3. 賛助会員の特典見直しについて

4. Spring Conference 2015開催について

5. JTTA主催国際学術集会の創設について

6. 国際交流委員長の交代について

7. IS f TeHのイベント参加について

8. 厚生労働省委託事業 遠隔医療従事者研修会結果について

第4回運営委員会 日時：平成27年2月21日(土) 12:00～13:00

場所：東京都文京区 全国家電会館

出席状況：運営委員35人中、出席21人、欠席14人

議題：1. 2月20日の理事会報告

2. JTTA2015・第19回学術大会準備状況報告

3. JTTA2015論文査読支援業務の委託とワークフローについて

4. 学会雑誌11巻1号の論文投稿受付状況について

5. 賛助会員の特典見直しの実施について

6. JTTA主催国際学術集会の創設について

7. 政府・中央官庁の政策動向・予算動向等報告

8. JTTA平成26年度決算・平成27年度予算について

4. 国際交流委員会

遠隔医療にかかわる国際交流に対応するため、国際交流委員会が設立され、活動を開始した。2014年度の主な活動は以下のとおり。

- 1) Spring Conference 2015における米国商工会議所によるランチョンセミナー開催
- 2) ASEAN諸国の遠隔医療事情調査の支援
- 3) 南アフリカ・ナイジェリアからの日本訪問調査への招請対応

なお、委員会名簿は以下のとおり。

委員長	樽松 八平	BHNテレコム協議会
委員	十蔵寺 寛	東海大学
	辻 正次	兵庫県立大学
	中島 直樹	九州大学
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学

5. 普及委員会

2014年度は、遠隔医療の普及に関して、以下の普及活動に協力した。

- 1) 日本遠隔医療協会の厚生労働省受託「遠隔医療従事者研修」の開催
- 2) 厚生労働科学研究・遠隔医療研究班（班長：酒巻哲夫）の研究支援

なお、委員名簿は以下のとおり。

委員長	長谷川 高志	群馬大学
委員	岩澤 由子	群馬大学
	岡田 宏基	香川大学
	柏木 賢治	山梨大学
	郡 隆之	利根中央病院
	坂田 信裕	獨協医科大学
	坂庭 一彦	パナソニックヘルスケア
	酒巻 哲夫	高崎市医師会看護専門学校
	辻 正次	兵庫県立大学
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学
	松井 英男	川崎高津診療所
	森田 浩之	岐阜大学
	米澤 麻子	NTT データ経営研究所

6. 分科会の活動

以下の、7つの分科会が結成され、活動した。（各活動報告は、学会雑誌 11 巻 1 号に掲載）

No.	分科会名	分科会長	目的
1	e-health 研究会	長谷川高志	IT メディアを介した医療・健康サービスの提供形態を考える。遠隔診療、PHR などの社会への定着を目指した研究活動を推進する。
2	在宅医療支援分科会	太田 隆正	遠隔医療特に在宅医療への TV 電話活用を研究、地域医療介護への活用の実用化に取り組む。
3	市民参加の遠隔医療	瀧澤 清美	情報やサービスの内容が十分評価吟味されないまま提供されることがあり、利用者側での不利益やトラブルの発生が懸念されている。患者や市民が情報やサービスを安全、有効に利用できるよう環境づくりを推進する。（抜粋）
4	遠隔医療通訳	竹迫 和美	在住外国人や旅行者が受診する際、多言語で 24 時間対応できるよう、遠隔地からの医療通訳を可能にするシステムの構築をめざし、事例研究と実証的技術の研究を行う。
5	在宅見守り支援分科会	鈴木 亮二	ICT を用いた在宅見守り支援を普及する方法として、「ひと」と「もの」を連携した「社会連携ユニッ

			トの構築」を提言し、在宅見守り支援の確立と普及を目指す。
6	周産期医療分科会	小笠原敏浩	日本産婦人科医会で取り組んでいる周産期電子カルテネットワークプロジェクトを日本全国、さらには世界に展開することを目的としています。
7	睡眠遠隔医療分科会	成井 浩司	I C Tを活用し、睡眠医療の診断及び治療全般のレベル向上を図り、僻地・海外を始めとする対面診療が困難な状況における遠隔医療のあり方について検討および提言を行う。

7. 会員の状況

(1) 平成 27 年 3 月 31 日現在会員数

正会員 400 人（前年度末は 388 人）20 人の幹事会員を含む。会費納入は 328 人。
 学生会員 21 人（前年度末 12 人）会費納入は 13 人
 賛助会員 15 社 51 口（2 社×5 口、13 社×3 口）

(2) 平成 26 年度新規入会者 52 人（前年度 50 人）

(3) 平成 26 年度退会者 19 人〔前年度 36 人〕

8. ホームページの運用

日本語及び英語のホームページを運用した。

日本語ページ URL <http://jtta.umin.jp/index.php>

英語ページ URL <http://jtta.umin.jp/eng/index.php>

なお、平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで（1 年間）のお知らせ掲載数は、以下のとおりであった。

日本語ページ 30 編（前年度 35 編）

英語ページ 0 編（前年度 7 編）

以上。

第 2 号議案 平成 26 年度（第 4 期）決算報告

1. 平成 26 年度収支および資産の概要

(1) 収支の概要（別紙、H26 会計総括表参照）

	予算	決算	コメント
会費収入	3,840 千円	3,486 千円	正会員 313 人-17 人
参加費収入	1,350 千円	939 千円	
学会誌事業収入	450 千円	537 千円	バックナンバー販売+146
その他収入	1 千円	600 千円	JTTA2014 戻し 400、SC 展示等 200
収入合計	5,641 千円	5,563 千円	
事業費	2,076 千円	1,217 千円	国際交流-100、翻訳等-373 など
学会誌事業費	1,545 千円	1,744 千円	
加盟費	50 千円	62 千円	
管理費	1,708 千円	1,341 千円	人件費-147、国内旅費-233
学術大会準備金	300 千円	300 千円	
支出合計	5,679 千円	4,664 千円	
収支差額	△39 千円	898 千円	

(2) 資産の概要

	前期末	当期末
現金預金	1,203 千円	2,045 千円
棚卸資産	644 千円	638 千円
備品	19 千円	19 千円
前受け金	△52 千円	△36 千円
未収金	-	40 千円
資産合計	1,814 千円	2,707 千円

2. 収支報告、監査報告

(1) 平成 26 年度貸借対照表・財産目録（別紙、H26 決算報告書参照）

(2) 平成 26 年度収支報告書（別紙、H26 決算報告書参照）

(3) 監査報告書（別紙、H26 監査報告書参照）

第3号議案 平成27年度（第5期）事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌 11巻1号 平成27年6月発行	500部程度
日本遠隔医療学会雑誌 11巻2号 平成27年9月発行	650部程度

(2) 学術集会開催

第19回日本遠隔医療学会学術大会（JTTA2015）

大会長	渡辺 みか（東北大学）
副大会長	中里 信和（東北大学）
プログラム委員長	佐々木 毅（東京大学）
事務局長	谷内 真司（東北大学）
開催日	平成27年10月9日（金）、10日（土）
会場	仙台市戦災復興記念館

JTTA Spring Conference 2016

開催日	平成28年2月12日（金）、13日（土）
会場	東京都文京区 全国家電会館

2. 組織体制の整備

(1) 幹事会員選挙の実施

下表のごとく、幹事会員10人（任期は、平成30年度まで）が選出された。

理事会選任	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学
	長谷川 高志	群馬大学
	森田 浩之	岐阜大学
会員の選挙	太田 隆正	太田病院
	大山 太	東海大学
	郡 隆之	利根中央病院
	酒巻 哲夫	高崎市医師会看護専門学校
	鈴木 亮二	群馬大学
	原 量宏	香川大学
	吉田 晃敏	旭川医科大学

(2) 新役員の選任

- 1) 理事の選任・・・本総会6号議案
- 2) 会長・代表理事、副会長、専務理事、常務理事の決定・・・本総会後の臨時理事会
- 3) 監事の選任・・・本総会6号議案

(3) 運営委員の選任・・・別紙名簿の運営委員を第1回臨時理事会で選任した。

(4) 各種規則の整備・・・理事会決定事項

1. 一般社団法人日本遠隔医療学会運営会議規則

2. 一般社団法人日本遠隔医療学会事務局規則
3. 一般社団法人日本遠隔医療学会設置規則
4. 一般社団法人日本遠隔医療学会編集委員会規則
5. 一般社団法人日本遠隔医療学会国際交流委員会規則
6. 一般社団法人日本遠隔医療学会普及委員会規則
7. 一般社団法人日本遠隔医療学会選挙管理委員会規則
8. 一般社団法人日本遠隔医療学会学術大会実行委員会規則

(5) 委員会・・・委員長は理事会決定事項

- | | | |
|------------|-----|--------|
| 1. 編集委員会 | 委員長 | 石塚 達夫 |
| 2. 普及委員会 | 委員長 | 長谷川 高志 |
| 3. 国際協力委員会 | 委員長 | 樽松 八平 |
| 4. 選挙管理委員会 | 委員長 | 東福寺 幾夫 |

(6) 会員

会員の加入を促進し、タイムリーで公平な会員サービスを実現する。

3. 組織の運営

(1) 総会

定時総会	平成 27 年 6 月 27 日 (土)	東京
------	----------------------	----

(2) 理事会

第 1 回定時理事会	平成 27 年 6 月 27 日 (土)	東京
第 2 回定時理事会	平成 27 年 10 月 9 日 (金)	仙台
第 3 回定時理事会	平成 28 年 2 月 12 日 (金)	東京

(3) 運営委員会 (運営会議)

第 1 回運営委員会	平成 27 年 6 月 27 日 (土)	東京
第 2 回運営委員会	平成 27 年 10 月 10 日 (土)	仙台
第 3 回運営委員会 (研修会)	平成 27 年 12 月 5 日 (土)	東京
第 4 回運営委員会	平成 28 年 2 月 13 日 (土)	東京

(4) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を運営、会費・掲載料の適正な収納。
- ・会員管理 正確な名簿の維持、会員サービスの適時提供。
- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信。英語発信力向上を目指した運用再検討。
- ・役員、委員会、分科会活動の適切な支援
- ・IS f TeH 窓口
- ・その他

(5) 委員会・・・年度末に活動報告を

- ・編集委員会 学会雑誌 11 巻 1, 2 号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2016 開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援
- ・国際交流委員会 国際交流の支援、国際交流事業の企画、Web 英語ページ支援

・選挙管理委員会 2017年度選挙に向けての準備

(6) 分科会・・・年度末に活動報告を

・分科会の継続確認

・適切な助成の実施

以上。

第4号議案 平成27年度(第5期)予算

1. 平成27年度予算案概要

(1) 収支の概要 (別紙、H27 予算表参照)

	全年度実績	当期決算	コメント
会費収入	3,486 千円	3,880 千円	正会員 350 人
参加費収入	939 千円	1,210 千円	SC2016 100 人
学会誌事業収入	537 千円	430 千円	
その他収入	600 千円	301 千円	
<u>収入合計</u>	<u>5,563 千円</u>	<u>5,821 千円</u>	
事業費	1,217 千円	2,210 千円	SC2016+167、委員会費+250、 国際交流費+373 など
学会誌事業費	1,744 千円	1,600 千円	
加盟費	62 千円	60 千円	
管理費	1,341 千円	1,764 千円	運搬通信費+115 など
学術大会準備金	300 千円	300 千円	
<u>支出合計</u>	<u>4,664 千円</u>	<u>6,234 千円</u>	
収支差額	898 千円	△414 千円	

(2) 資産の概要

	前期末	当期末
現金預金	2,045 千円	1,708 千円
棚卸資産	638 千円	638 千円
備品	19 千円	19 千円
前受け金	△36 千円	-
未収金	40 千円	-
<u>資産合計</u>	<u>2,707 千円</u>	<u>2,366 千円</u>

以上。

第 5 号議案 定款の変更

1. 購読会員制度の創設について

本会雑誌を定期的に購入し、文献データベース作成や技術動向調査等に利用している組織がいくつかある。

医中誌・・・担当者が正会員として入会。各号 1 冊 8,000 円の負担。

特許庁・・・賛助会員として入会。各号 2 冊で 30,000 円の負担。

J S T・・・バックナンバーとして購入。各号 1 冊で 9,000 円の負担。

学術発表はしないが、学会雑誌の購入を希望する組織・団体を対象とする購読会員制度を設ける。購読会員の年会費は正会員と同額の 8,000 円とし、幹事会員選挙の選挙権は付与しない。

2. 名誉理事制度の創設および顧問の条件緩和について

遠隔医療と本会の発展に顕著な貢献した正会員を、本会の名誉理事として顕彰し、その見識を以て本会の運営を支援していただく。また、顧問については、非会員でも委嘱できるようにする。

【条文変更案】

現行定款	改定案
<p>(種別)</p> <p>第 6 条 当法人の会員は、次の 4 種類とし、幹事会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）上の社員とする。</p> <p>(1) 幹事会員 略</p> <p>(2) 正会員 当法人の目的に賛同して入会した個人</p> <p>(3) 賛助会員 当法人の事業を賛助するために入会した個人または団体</p> <p>(4) 学生会員 略</p>	<p>(種別)</p> <p>第 6 条 当法人の会員は、次の 5 種類とし、幹事会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）上の社員とする。</p> <p>(1) 幹事会員 略</p> <p>(2) 正会員 当法人の目的に賛同して入会した個人</p> <p>(3) 賛助会員 当法人の事業を賛助するために入会した個人または団体</p> <p>(4) 学生会員 略</p> <p>(5) 購読会員 当法人の機関誌を購読することを目的として入会した個人または団体</p>
<p>(名誉会長及び顧問)</p> <p>第 33 条 当法人に、名誉会長及び若干名の顧問を置くことができる。</p> <p>2 名誉会長及び顧問は会員の中から、理事会において任期を定めた上で選任する。</p> <p>3 名誉会長、名誉理事及び顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用の</p>	<p>(名誉会長、名誉理事及び顧問)</p> <p>第 33 条 当法人に、名誉会長、若干名の名誉理事並びに顧問を置くことができる。</p> <p>2 名誉会長及び名誉理事は会員の中から、顧問は、会員及び学識経験者のうちから、理事会において任期を定めた上で選任する。</p> <p>3 名誉会長、名誉理事及び顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費</p>

<p>支払いをすることができる。 (名誉会長及び顧問の職務) 第 34 条 名誉会長及び顧問は、会長の諮問に応え、会長に対し、意見を述べるすることができる。</p>	<p>用の支払いをすることができる。 (名誉会長、名誉理事及び顧問の職務) 第 34 条 名誉会長及び顧問は、会長の諮問に応え、会長に対し、意見を述べるすることができる。 2 名誉理事は、理事会に出席し、意見を述べるすることができる。</p>
<p>(設立時の会費及び入会金) 第 67 条 この法人の設立当初の年会費は第 8 条の規定に関わらず、次に掲げる額とする。理事会で徴収を決定するまでの間は入会金を徴収しない。 幹事会員 12,000 円 正会員 8,000 円 賛助会員 一口 10,000 円(3 口以上 5 口以内) 学生会員 4,000 円</p>	<p>(会費及び入会金) 第 67 条 この法人の年会費は次に掲げる額とする。理事会で徴収を決定するまでの間は入会金を徴収しない。 幹事会員 12,000 円 正会員 8,000 円 賛助会員 一口 10,000 円(3 口以上) 学生会員 4,000 円 購読会員 8,000 円</p>

以上。

第 6 号議案 役員の選任

1. 理事の選任について

幹事会員の中から、理事に立候補された以下の 10 人を、理事に選任する。なお、理事の任期は 2 年間、平成 28 年度末（29 年度定時総会）まで。

氏名	所属
郡 隆之	利根中央病院
坂田 信裕	獨協医科大学
酒巻 哲夫	高崎市医師会看護専門学校
鈴木 亮二	群馬大学医学部附属病院
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学
長谷川 高志	群馬大学医学部附属病院
原 量宏	香川大学
森田 浩之	岐阜大学
山田 桃子	NPO 法人 medical-e.net
吉田 晃敏	旭川医科大学

2. 監事の選任について

現監事 吉井 宏文氏（吉井宏文税理士行政書士事務所）を再任する。なお、監事の任期は 4 年間、平成 30 年度末（31 年度定時総会）まで。

以上。